

採決の動きを受けて緊急街頭集会を開催

「高プロ」はいらない!

連合北海道は6月28日、高度プロフェッショナル制度(高プロ)を含む働き方改革関連法案の参議院厚生労働委員会での採決の動きを受けて、JR札幌駅南口で緊急の抗議集会を開催し、年収要件や対象業務が明記されていないこと、タダ働きや過労死を招くことなどの問題点や危険性を市民に訴え、法案から高プロを削除することを求めて取り組んでいくことをあらためて確認した。

主催者挨拶した連合北海道の杉山事務局長は、「労働者の声を無視し、数の力で法案を今日通そうとしている」と指摘し、「過労死を招く法案はいらぬ。削除を求めて闘いを継続していく」と強く訴えた。

連帯挨拶にかけつけた立憲民主党道連の市橋幹事長(後志管内選出道議)は「この法案が成立し、政令で具体化した時、タダ働きとなることを覚悟してもらいたい」と仕事帰りの市民に訴えると共に、「働き方改革や



高プロ削除を求めて拳を上げる左から杉山事務局長、篠田国民民主党北海道総支部女性委員長、太田石狩地協会長、市橋立憲民主党道連幹事長

憲法改悪で日本の形が変わろうとしている」と指摘し、「廃案に向けて共に闘うことを誓う」、国民民主党北海道総支部の篠田女性委員長(札幌市議)も「働く人にとってあつてはならない法案。廃止に向けて連合や立憲民主党と共に闘う」とそれぞれ挨拶した。

最後に連合北海道石狩地協・太田会長の音頭で「働く者が求めている高プロの削除を求めてガンバロー」と拳を上げ、今後も闘っていくことを確認した。

連合北海道は29日も札幌市大通り3丁目で抗議集会を予定している。



↑ 団結ガンバローで粘り強く闘うことを確認し合った

↑ メッセージボードを掲げて反対をアピール